

学校だより

平成29年  
9月号 No. 30



# ふれあい

## 自分の生き方を確認する

－ 「不食の弁護士」秋山佳胤さんから学ぶ －

学校長 渡辺 正彦

この世に生を受けて70年が経過しました。紆余曲折の陳腐な人生もエピローグに突入です。思えば人生はエピローグの連続なのかもしれないと思う昨今です。そんな中、本校の顧問弁護士（勿論ボランティア）を努めて下さっている秋山弁護士から私のメールに対して、「ひまわりと渡辺先生は地上でも光輝く稀有な存在です。」という過分な返信メールが届きました。秋山先生とコラボの講演会をさせていただいて以来、私の事を「伝説の校長」と呼ぶショートメールが何通も入るようになりました。恐れ多い事です。秋山先生のように訴訟相手とも理解しあえる広い心や人間愛には、到底届きませんが、十年来の交流を通して、先生の生き方には、常に影響を受けております。先生の生き方、特に人に対する接し方は、私の教育理念に通じる部分が大だと思っております。

エピローグを迎えた老校長の校長としての理念は「伝説の校長」と呼ばれる事ではなく、自らを「職人校長」と称して、生涯を「教育弱者」と「教育的少数児童・生徒」の支援に徹する事です。「職人校長」について横浜市立さつきが丘小学校校長時の平成20年11月号の学校だよりから以下のように引用します。教育は自分の人生における大半を占めており、教育イコール自分の生き方なのかも知れません。

<さつきが丘小学校学校だより「さつきが丘」第191号 平成20年11月号より>

### 職人校長を目指す

「はさみを動かす度に腕の内側の筋が規則正しく小刻みに動く。」そんな様子を見ながら「父の腕の筋が使い過ぎで切れたら明日から御飯が食べられなくなる」と子どもの頃の私は、よく心配したものです。

幼くして父親を亡くした私の父は、10歳で丁稚奉公に浅草の床屋の親方の元に預けられました。当初の仕事内容は、親方の家の洗濯や子守といった家事全般が中心、そんな中で親元を離れた10歳の子どもは、礼儀やしきたりを厳しく鍛えられました。やがて店に

出ることを許された父は、親方の仕事内容や技術を見よう見まねで必死で覚えたと聞いております。親方は、怒鳴ることはあっても手取り足取り教えることは一度もなかったそうです。そして、二十歳で独立、以来55年間も床屋を続けて我が家の生計を支えてくれました。短気で職人氣質の父は、世間の知識には疎いところもありましたが、床屋の仕事ができるまで頭を刈り続け、髭を剃り続けました。ある時など、お客の方から「もうこの位でいい、結構です。」と言われても、自分の納得のいくまでかたくなに仕事を続けておりました。「床屋の仕事は能書きじゃない、腕（技術）だ」といつも言っておりました。そんな明治生まれの職人が私の父親でした。

教員になって30年以上が経ち、多くの経験をする中で、私も何となく父親に似てきたような気がします。「教師の仕事は理屈じゃない、まず行動することだ」と強く思うようになってきたからです。学習指導要領が変わり、指導技術が進歩する中にも長い間培ってきた経験や感覚、そして行動力こそが教員としての大切な財産なのです。校庭で遊ぶ児童のちょっとした動作からいじめを発見したり、朝礼で整列した児童の顔色から家庭での様子を危惧したり、教室は勿論、児童の安全や安心に対して、妥協を許さず、頑固なまでの強いこだわりをもつ、職人のような校長を目指したいと思っております。

児童の命を最後まで守った「聖職の碑」の赤羽校長、毎週の朝礼では、かたくなに常念岳を褒める話に終始し、「常念校長」と呼ばれた佐藤校長、そんな大正期の先輩校長に少しでも近づきたいと思っております。

※① 教育弱者（私的定義）：学校教育になじめず日々苦戦する児童・生徒。

※② 教育的少数児童・生徒（私的定義）：考えや行動において他の多くの者と異なり、独自の思考や行動形態を有する者。

※③ 「聖職の碑」：木曾駒ヶ岳へ集団登山をした生徒と教師が遭難する事故を題材とした新田次郎の小説。

※④ 「常念校長」：臼井吉見の随筆「安曇野」に紹介された佐藤校長。北アルプス常念岳を愛し、朝会では、常念岳のことを執拗に話すことから「常念校長」と呼ばれた。

## 2017年8月の行事から

8月20日(日)「ひまわり開校7周年記念ミニバザー」

ひまわり開校7周年を記念してミニバザーを開催しました。

いつも地域の方々から多くのバザー用品の提供、誠にありがとうございました。

当日も天候に恵まれ、沢山の家族連れで賑わいました。ありがとうございました。



# 9月の主な行事等予定

日にち	曜日	行事などの予定
2日	(土)	鉄道趣味教室 農業指導教室 校内青空ヨガ指導
6日	(水)	ボランティア研修会議(10時～) 校内青空ヨガ指導 校内清掃
9日	(土)	鉄道趣味教室 農業指導教室 校内青空ヨガ指導
13日	(水)	農業指導教室 校内青空ヨガ指導
17日	(日)	サンデーフリマ出店(野菜販売) ※9時より しらとり台 53-1 青葉寮
30日	(土)	子どもの料理教室(カレーライス作り) 校内青空ヨガ指導

※「サンデーフリマ」にお出でください。

毎週第3日曜日、9時から青葉寮(しらとり台 53-1)で開催している家庭的なフリマです。

「ひまわり」も無農薬なひまわり野菜を出店中、「ひまわり」支援者は、特別割引をします。

※「ひまわり青空ヨガ」

午後にひまわり敷地内で行っている無料ヨガ教室です。雨天中止。

時間は、前日または当日ご連絡ください。天候や気温を配慮して決めます。

「ひまわり」の活動を理解して頂ける方ならどなたでも参加歓迎です。

## 「ひまわりヨガ開講予告」

初回開講日：10月20日(金) 午後2時より3時まで。

(毎月第1・第3金曜日、同時間帯で開催)

コンセプトは、やさしく、無理なく。

初心者、高齢者、子育てママ、男女問わず大歓迎です。

指導者：渡辺二三子(ひまわり、ふみこ先生、有資格者)

参加費：10回で1000円

※怪我などは自己責任でお願いします。

申込方法：横浜市さつきが丘ケアプラザ地域交流まで。(先着10名)

※質問は、「ひまわり」090-9201-3002でも可能です。

※児童・生徒募集中(若干名)：居場所、ソーシャルスキル指導、学習指導、農業指導ほか。

※ボランティア募集中：子どもの見守り、話し相手、学習指導、趣味の指導、農作業、鶏の餌やり、清掃、雑務など。お力を貸してください。(月、水、金、土、時間自由)。